

# がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です  
 プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	Nedaplatin+CPT-11
診療科名	産婦人科
診療科責任者名	大塚 伊佐夫
適応がん種	子宮頸がん(再発orStage )
保険適応外の使用	有 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	Ut-10
登録日・更新日	2009年4月15日
削除日	
出典	Brit Jcancer 2004;91:1032
入力者	安室 修

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	カンプト	100mg	80mg/m <sup>2</sup>	IV DIV IVHポート 側管 その他( )	90分	Day1
	生理食塩液	500mL				
No.2	アクブラ	10、100mg	50mg/m <sup>2</sup>	IV DIV IVHポート 側管 その他( )	90分以上	Day1
	生理食塩液	500mL				

1コースの期間	28日
投与間隔の短縮規定	短縮可能( 日) ・ 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%
減量・中止基準	【開始基準】 75歳未満 PS2以下 WBC>3,000/mm <sup>3</sup> ANC>1,500/mm <sup>3</sup> Plt>10万/mm <sup>3</sup> T-Bil<1.5mg/dL AST<60IU/L (ALT>100IU/L) BUN<20mg/dL SCr<1.5/dL 【延期基準】 WBC<3,000/mm <sup>3</sup> ANC<1,500/mm <sup>3</sup> Hb<8.0g/dL Plt<10万/mm <sup>3</sup> T-Bil>2.0mg/dL AST>100IU/L ALT>100IU/L BUN>40mg/dL SCr>1.5/dL 上記以外でGrade3(CTCAEv3.0)以上の有害事象発現 【減量基準】 WBC<1,000/mm <sup>3</sup> ANC<500/mm <sup>3</sup> Plt<2.5万/mm <sup>3</sup> のとき次コースは1段階減量 1段階減量 CPT-11:50mg/m <sup>2</sup> Nedaplatin:80mg/m <sup>2</sup> 2段階減量 CPT-11:50mg/m <sup>2</sup> Nedaplatin:70mg/m <sup>2</sup>
前投薬	5-HT3拮抗剤
その他の注意事項	前治量(放射線含む)から少なくとも4週間経過してから開始すること アクブラ終了後に生理食塩液1000mLの投与を行う 少なくとも2コース実施しno change(NC)であれば中止する。 Grade4の好中球減少症もしくはGrade3の発熱性好中球減少症のときG-CSFを使用する。

記入者	安室 修
確認者	大塚 伊佐夫